



じどうかんまつり「鳴子でダンス」

月曜集會に夢を託して

監事 菅 恒 敏

今からおおよそ二十年前、京都教会の附属同心幼稚園が地域の幼児減少により休園となり、代わって児童館の設立を決めたものの、当時は宗教法人では児童館の設立が認められなかったため、西陣会に社会福祉法人格をお借りしたいとお願いしたところ、快くお引き受け下さり、その結果「社会福祉法人西陣会同心児童館」として設立が認められ、その後法人でも児童館の設立

が認められるようになるまで、三年間ほど運営が続けられました。それを契機として西陣会と関わりを持たせて頂くようになりました。が、今から思えば、随分と厚かましい大胆なお願いをしたものだと、冷や汗の出る思いですが、当時の理事長の深田未来生先生を始め、西陣会の皆さまの深い懐と暖かいご厚情のお陰であったと感謝の思いは忘れられません。そのような中で、西陣会に聖書の学びを中

心とする「月曜集會」があることを知り、キリスト教信者である手前、関心を持つて早速顔を出してみたところ、集會の流れは以下のようなものでした。先ず、参加者全員で順次聖書を通読した後、担当者が聖書の解き明かしを行い、それに対する感想や心に響いたことなどを思い思いに発表し、その発表に対して指導者の深田未来生先生が、時には優しく、時には辛口のコメントを加えて内容をより豊かなものにして下さいます。それが終わると、各人の手製のケーキやお菓子を頂きながら、歓談の時間が始まります。この歓談は何時尽きるとも無く延々と続くのが常でした。そして、この月曜集會には二つの特徴があることに

気がつきました。一つは、教会や学校で行われる聖書研究会では、指導者である牧師なり教師が一方的に聖書の解き明かしを行い、詰め込み式の型にはまったものになりやすいが、月曜集會では参加者各人がそれぞれの思いを自由に語り合い学び合うという点で、型にはまらない「ゆるさ」が感じられること。もう一つは、月曜集會に集う人は、老若男女、キリスト教信者・未信者、西陣会の関係者の如何など一切問わず、誰でも自由に参加できて、「多様性」が大切にされていることです。この月曜集會が大切にしている「ゆるさ」「多様性」は、居場所に求められる大切な要件であり、その意味では月曜集會は聖書の学びの場のみならず、格

センター 便り

絆

きずな

第194号

発行所

社会福祉法人 西 陣 会

HP: <http://www.nishijin.org>
E-Mail: nishijinkai@nishijin.org

〒602-8464
京都市上京区元誓願寺千本東入ル
TEL (075) 451-8971
FAX (075) 451-5700

発行者: 南大路 文子
編集責任: 土屋 健弘

郵便振替口座
01030-5-23086



ホームページでも
ご覧になれます

当法人への寄付金は、課税控除対象となりますので、その為の受領書が必要な方はお申し出下さい。

好の居場所を提供していることに気がつきました。

近年、コロナ禍・ウクライナ戦争・核開発・地球温暖化の不安など、世界は不安定な色合いを強める一方、国内では格差・差別の拡大、人間の尊厳の軽視・軍備増強・情報過多など、平和が次第に遠ざかり、不安が煽られる状況の中で、子どもたち(学校)、若者(職場)、高齢者(家庭)、誰もが精神的に疲弊し、自分を見失いそうになり、その対処法として、心が安まり気楽に集うことの出来る居場所を求めていると言われています。

コロナ禍の間は集会をもつこともままならず、また深田未来生先生のご逝去によつて良き指導者を失い、関係者は活動を維持することに苦慮されたとお聞きしますが、丁度西陣会が創立六十周年を迎えるに当り、今後の事業展望の中で月曜集会の位置づけをどのようにするか、議論が行われました。その結果、西陣会の経営理念に聖書の言葉「自分を愛するようにあなたの

隣人を愛しなさい」が据えられており、この経営理念を支え続けていくためにも月曜集会の存在は大切であるとの認識が深まり、新たな思いで活動に取り組んでいくことが確認されました。

そもそも、西陣会立ち上げの発端は、当時未だ沢山残っていた西陣織企業で働く若者たちの居場所づくりにあったと聞きます。そして、聖書の言葉を経営理念として掲げ、働く若者たちに居場所を提供することを目指した西陣会の設立当初の思いが、そのまま月曜集会の活動姿勢に引き継がれています。今後月曜集会が多くの人の知られ、生きることの大切な指針を示す聖書の学びの場としてのみならず、誰もが気楽に利用出来る居場所として、西陣会の職員の皆さんや地域の人たちに愛される集いの場となることを夢見ています。

集会は8月中は休会、9月11日、25日、10月16日、30日の19時頃の予定です。ぜひお越し下さい。

二〇二三年度理事

・ 監事改選

さて今年度は、理事・監事の改選の年度でした。今回は、すべての理事・監事の方々に継続して担っていただけることとなりましたことを感謝させて頂いたたくとも、ご報告させて頂いたいただきます。

(敬称略)

- 理事長 南大路文字
- 理事 武田 康晴
- 理事 山本 恵
- 理事 平田 義
- 理事 福井 治子
- 理事 土屋 健弘
- 理事 中山 あい
- 理事 宇川 征宏
- 監事 菅 恒敏
- 監事 村井 喜治

地域生活支援ニュース

西陣会居宅サービス係

あなたがいちばん大切にしたいことを

教えてください!

副所長 山本 みちる

あなたが、人生の中で、今、いちばん大切にしたいことは何ですか？

大切にしたいことはできていますか？
日々の生活に流されて忘れてしまっていないでしょうか？

今だからこそ、ひとりひとりが、今、いちばん大切にしたいことに向き合い応援していきたい。これは、ご利用者にも、法人で働く職員に対しても、私が強く思っていることです。

ご利用者のみなさん、あなたが今、いちばん大切にしたいことは何ですか？
職員のみなさん、あなたが今、いちばん大切にしたいことは何ですか？
すぐに答えの出ない方もおられるかもしれませんが、でも、ぜひ考えてみて下さい。

この数年で、生活様式が大きく変化しました。今は、自粛されていたことが動き始めて、日常生活が慌ただしく過ぎていっています。その日常の中で、あなたが、今、いちばん大切にしたいことは何ですか？いちばん

大切にしたいことはできていますか？
日々の生活に流されて忘れてしまっていないでしょうか？

すれば、ヘルパーさんに無理は言えない…。

職員のみなさんからすれば、利用希望をいただいているし、仕事だから…。

と、今、いちばん大切にしたいことにふたをしていませんか？

あなた自身が、今、いちばん大切にしたいことを本当に大切にできれば、穏やかな気持ちで相手を思いやる事ができて、あなたの周りにいる人たちが大切にしていることにも気づけるかもしれません。

ご利用者、職員ではなく、ひとりの「人」として、自分自身も、周りの人も大切にできる。

当たり前前のことかもしれないですが、頭で理解できなくても、実際はなかなかできていない時もあるように思います。

生活そのものが人生ですね！

ひとりひとりが、人生の中で、

今、いちばん大切にしたいことを大切にできて、毎日笑顔の輪が広がればいいな。と思います。

最後になりましたが、法人は、昨年六十周年を迎え、西陣会居宅サービス係は今年で二十歳を迎えることができました。これも、利用し続けていただいている皆さんがいて、直接サポートをはじめ、色々なサポートをしていただいている皆さんのおかげです。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。



デイ活動中 (デイセンターふらっと)

デイセンターふらっと

改めましてよろしくお願ひ致します

主任 近藤 隆平

今年度より西陣会居宅サービス係からデイセンターふらっと所属になりました。

近藤隆平と申します。西陣会居宅サービス係ではヘルパーとして、ご利用者の生活の場面や外出の付き添いなどさせて頂いていました。二十年近く関わっているご利用者でも新しい発見や見たことのなかった表情があると感じていたところでしたが、日中活動の場で関わる場面が変わるとやはり今までの比ではなく、知らなかったご利用者の一面がたくさん知れて新鮮な毎日を感じています。

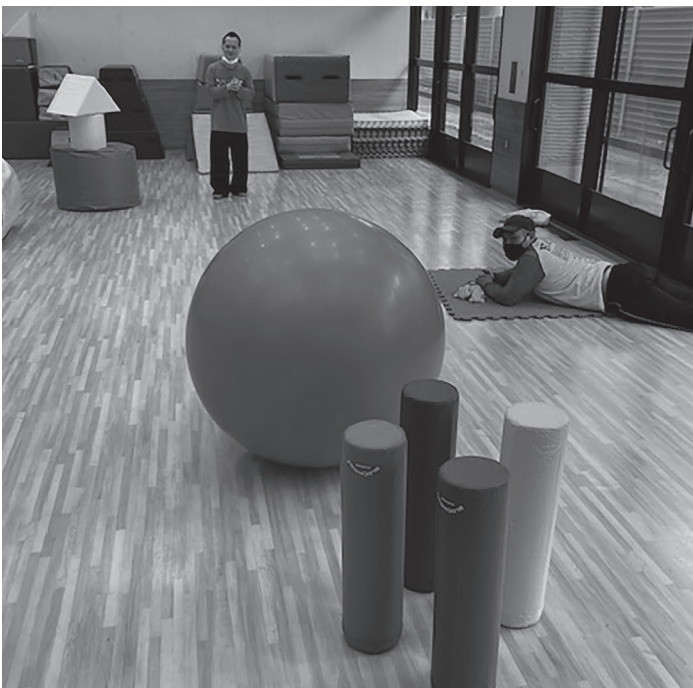
先日、生活介護事業所の集まり（生活介護等事業連絡協議会）に参加させていただきました。初めてお会いする方が多かったのですが、お話を聞いてみると他参加事業所の方もコロナ禍で直接会っての集まりは久しぶりで初めての参加なん

ですという方も多かったです。

新型コロナウイルスが5類になり、各事業所イベントや活動を以前のように行っているという希望は持ちながらそれでも、感染予防は無視できない現状の中で、どのように行っていたら良

いかを模索している話や人材確保に関してどの事業所も苦慮されていてその情報交換であったり有意義な時間を過ごさせていただきました。

参画事業所のリストを見ると、西陣会居宅サービス係所属の際に関わりのあった見知った事業所の方もいるので、お会いできるのが楽しみです。デイ職員になった近藤のことも今後とも皆様よろしくお願ひ致します。



ボウリング (デイセンターふらっと)

西陣会ホームとなり・きたまち

『帰る』という場所

世話人 四方 奈美江

「今日のごはん何?」「早くごはんたべたい。」と、皆さん夕食を楽しみにしておられます。一粒残さず返ってきたお皿を見ると、とても嬉しい気持ちになります。反対にお箸が進まない様子ときは、味かな? 見た目かな? それとも身体の調子が良くないのかな?と心配になります。

言葉をうまく発することができないご入居者が「ごちそうさまでした。」と、一生懸命に伝えて下さる姿には、仕事の疲れも吹き飛んでしまいます。

月に二〜三度、ご入居者と一緒に散歩やお買い物にも行っています。北野天満宮や平野神社を通り、木々や花を見たり、小鳥のさえずりを聞いたりすると、ホームの中では見られない表情をされることもあります。

ご入居者のAさんは、絵

を描いてもらうことが大好きで、「〇〇の絵描いてえ。」と、毎日必ずリクエストをされます。楽しかったことや、印象に残ったこと、やってみたいことなど様々です。Aさんのお絵描きの時間は、私にとっても大切なコミュニケーションの時間となっています。おこがましいですが、絵を通して夢や希望を叶えている時もあると自負しています。

元気で明るいAさんですが、「明日、おうち帰る?」「おうち帰りたいの。」とおっしゃっています。西陣会ホームとなり・きたまちのご入居者は、『帰る』という場所を二つ持っています。一つは、ご自宅。もう一つは、となり。

きたまちです。スタッフ一同、ご入居者をご自宅と同じように安心して暮らして下さるよう奮闘している毎日ですが、まだまだご自宅には敵いません。やはり、ご自宅が一番なのだなと思ひ知ります。帰りたいと思える場所は、好きな人がいて、好きな物があって、心が安らぐ場所ではないでしょうか。



小箱作業中 (ダイセンターふらっと)

私は、一言で言うとは平凡な人生を送ってきたと思います。そして、今も、日々の中でビツクリするような出来事もなく、平凡な毎日を過ごしていると思います。でも、私の人生の平凡さは、決して私一人で成り立たせているものではないし、その事は忘れがちになるという事を最近強く感じています。

高校生の頃までは、野球に打ち込み、その中で入院手術を要する怪我を何度かしました。身体的にもですが、チームの他メンバーが成長していく中で自分だけが取り残されていく精神的な苦痛の方が強くありました。その時、両親やチームメンバーがどのような気持ちでくれたのかという事は、その時の自分に考える余裕はありませんでした。

ひとりじゃない

所長 寺田 文

同僚が根気強く接して、色々な出会いを与え、自分で気付く機会を与えてもらいました。そして、結婚して子どもも生まれてからは、ショートステイも兼務している中で、昼夜問わず家を不在にする事が多い日々を、受け入れて支えてくれる家族がいる事で当たり前のようになつていきます。

思い返すと、何かあった時も、何もない日々も、その時々で誰かに支えられていたからこそ、その時のおだやかさがあって、今にながたつてきたのだと感じます。相談支援事業所さきずなご利用者の年齢層は三十〜四十歳代の方が多く、望む望まざるに限らず、ご本人もご家族も暮らしに変化が生じやすい時期を迎えておられます。そのような中で、一人ひとりのおだやかな日々を、近くで少し離れて、そっと支えられるようなはたらきをしたいと思っています。

支援センター「きりりんく」

新聞だけは欠かさずと思い 何とか読んでいます。

相談員 佐藤 匡

なかなか読み込むまではできていませんが新聞を購読しています。まずはテレビ面からチェック。(小さい頃はこちらが一面だと思っていましたのでその名残り) パラパラとめくりながら、とりあえず目を通すようにしています。新聞を読まなくなったら、活字に触れることなくなるかもな」と自分に圧をかけている部分もあります。

量があるので、目に留まらない記事の方が多いので申し訳ないのですが、たまに自分では思いつかない発想との出会いがあります。最近では、マイノリティーに関する法制度化のぐだぐだの状況が掲載されてあるのが気になっていたのですが、いろいろと意見がある中、マイノリティーをグループ分けしてしまうことへの提言が寄稿されており、そういう見方もあるのか」と感心させられました。ひとつの分野に長く関わっていると経験は積んでいくことはできる分、視点や視野はどうしても固まってきました。いろいろな考え方や見方を吸収しながら、柔軟に物事を捉えていけるよう備えていければと思います。

支援センター「くまのこ」

変わるもの 変わらぬもの

相談員 山田 梨恵

今年度五月より「にしじゅん」に入職し、数週間が経ちました。前々職では居宅介護の事業所で介護士をしておりましたが、二男が生まれたことを機に一般企業に転職しました。そして子どもたちが大きくなり落ちてきてきたこともあり、もう一度福祉に携わらせて頂くことにしました。以前は現場で直接支援に入らせて頂いており、現場での難しさがありました。相談支援という新しいフィールドに立ち、その難しさを感じている毎日です。

長いブランクを経て、感じていることのひとつに『変わったこと』があります。制度も以前にはなかったものがあつたり、児童の放課後支援のスタイルが様変わりしていたりと時の流れを感じました。しかし、一方で『変わらないもの』にほつとする場面もありました。昔、関わらせて頂いていた方々の笑顔です。「にしじゅん」に入職しました」とご挨拶に伺うと笑顔で迎えてくださった利用者様、入職を報告したら「やっぱり福祉に戻ってきたか!」と笑って迎えてくださった利用者様。皆さんが元気に過ごされている姿にほつとしました。この数年はコロナで生活自体が脅かされていたというお話も伺いました。そんな状況下でも元気に過ごされていた、そのことが一番嬉しかったです。

これから支援にあたらせて頂く中で、困っておられること、しんどいと感じておられることを丁寧にお聞きしながら、笑顔で生活して頂けるようお手伝いしたいと思えます。

毎週水曜日「パレード♪」で待ってまーす。



絵本にく・ぎ・ず・け♡



笑顔で星まつり

路地裏ステーションニュース

西陣児童館

「みんなで決めて、みんなで遊ぶ」

坂本 隼哉

児童館に関わる大人として、こどもたちがより多くの子と関わり合って、みんなが過ごしやすい、いてもいいんだと思える児童館にするためには、どうしたらよいのだろうか、というのを日々考えます。こどもたちは、他の人との遊びを通して関係性を作っていきますが、より多くの人と関係性を作るための遊びがなかなか自分の中で形になりませんでした。そのようなことに思考を巡らせ学んでいく中で、その答えの一つになりそうな活動に出会うことができたので、ここで紹介できたらと思います。

西陣児童館学童クラブでは、JUMP-JAM（ジャンジャン）という運動遊びプログラムを実施しています。JUMP-JAMは「運動することが好きでも嫌いでも、得意でも不得意でもたくさんのこどもたちにもっとからだを動かすことの楽しさを知ってもらいたい」という思いから生まれた、児童健全育成推進財団とナイキジャパンが共同開発した運動あそびプログラムです。

児童館でJUMP-JAMをするとき人気の遊びの一つに「キャップオニ」があります。「キャップオニ」は、二チームに分かれて手の甲に載せたキャップを相手にキャップのみをはじき飛ばして落としあう遊びです。



みんなで楽しく鬼ごっこ

この遊びに挑戦している中で、何か困ったことがあったときにはこどもたちと相談して決めます。キャップを落としたときや、キャップを飛ばそうとする際に体に当たったかどうか、など様々なことをこどもたちと相談して遊びを創っていきます。また、遊びがうまくいかないときは、上手にできる人のやり方をみんなで聞く時間を設けて、どうしたら上手にできるかをみ



心をあわせてジャンプジャンプ!!

んなで考え、次のとき、上手にできたらみんなで褒め合います。JUMP-JAMは、遊びの様々なルールや事柄を自分たちで選択・決定でき、それぞれがチャレンジを成功させるために貢献ができて、成功したら褒め合っ、それぞれの自信に繋がるような遊びが展開されることを大切にしています。こちらの都合で遊びが円滑に進むようにすることはできませんが、それ



活動日誌

【本部・京都市民福祉センター】

4月

- 10日 月曜集会
- 17日 福祉のお仕事相談会
- 20日 総務委員会
- 24日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
- 産業医面談相談会
- 安全衛生委員会
- 月曜集会
- 26日 新入職員座談会
- 28日 相談係座談会
- (MYM) 嘉楽体育振興会総会
- 1日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
- 8日 監事監査
- 11日 月曜集会
- 18日 レクリエーション委員会
- 「京都福祉就活サポートプログラム」見学対応
- 19日 乙訓若竹苑見学受入 (地活)
- 20日 理事会
- 21日 上京消防団総合査閲
- 23日 月曜集会
- 26日 産業医面談相談会
- 安全衛生委員会
- 京都市役員等研修会及び指導監査等説明会 (Zoom)
- 京産大ボランティアフェス

6月

- 6日 ステップアップ研修委員会
- キャリアパス&人材育成計画推進委員会 (キャリアパスに関するコンサルテーションを受ける)

【西陣児童館】

4月

- 1日 地域の子育て支援の場への職員派遣(今年度も定期的に実施)
- 10日 学童クラブ入部式
- 18日 ぼこ・あ・ぼこ発会式
- 19日 パレードトスタート
- 30日 レクリエーションスペースふらっと
- 28日 新入職員歓迎座談会
- 26日 産業医面談相談会
- 安全衛生委員会
- 23日 虐待防止&身体拘束禁止マナーセミナー
- 21日 入門編
- 12日 福祉の就職活動セミナー
- 11日 月曜集会
- 10日 西陣マルシェ
- 定時評議員会
- 26日 産業医面談相談会
- 安全衛生委員会
- 23日 月曜集会
- 21日 産業医面談相談会
- 12日 福祉の就職活動セミナー
- 11日 月曜集会
- 10日 西陣マルシェ
- 定時評議員会

5月

- 1日 避難訓練(学童クラブ)
- 28日 公園で遊ぼう(橘公園へ)

6月

- 7日 避難訓練(パレードト)

【居宅サービス係】

4月

- 15日 ヘルパー研修会
- 16日 居宅職員会議
- 19日 北の勉強会
- 28日 サービス提供責任者会議

5月

- 14日 居宅職員会議
- 26日 サービス提供責任者会議
- 29日 居連協総会

6月

- 5日 北の勉強会
- 25日 居宅職員会議
- 27日 ヘルパー研修会
- 30日 サービス提供責任者会議

- 15日 乾隆小学校運営協議会 (中山)
- 実習生の受け入れ
- ・京都看護大の学生
- 5月17、24、31日、6月7日、

【デイセンターふらっと】

4月

- 17日 ユニットリーダー会議
- 22日 デイ職員会議

5月

- 15日 ユニットリーダー会議
- 17日 ふらっヴィジョン総会
- 26日 生活介護等事業連絡協議会

6月

- 6日 デイご利用者家族会
- 19日 ユニットリーダー会議

【きらリンク】

4月

- 7日 北部自立支援協議会運営会議
- 8日 北部自立支援協議会
- 26日 支援センター部会
- 基幹センター会議

5月

- 15日 北区こころのキャンパスネットワーク実務者会議
- 17日 左京こころのふれあいネットワークワーキング会議
- 22日 北部自立支援協議会児童養護自立支援連絡会
- 23日 北部自立支援協議会夜のNOD交流会
- 24日 北部自立支援協議会
- 29日 京都府居宅介護等事業連絡協議会総会

6月

- 17日 北部自立支援協議会
- 22日 支援センター部会
- 27日 障害支援区分審査会
- 28日 基幹支援センター事業権利擁護連絡会
- 29日 北区こころのキャンパスネットワーク総会
- 相談支援スキルアップ研修

【にしじん】

4月

- 5日 中部自立支援協議会事務局会議
- 13日 機能集約合議体
- 19日 上京ネット実務者会議
- 26日 基幹支援センター会議

5月

- 8日 生活支援委員会
- 16日 中部自立支援協議会
- 22日 相談支援専門員部会
- 25日 機能集約合議体
- 26日 京都市児童専門部会
- 26日 中部自立支援協議会
- 26日 医療的ケア専門部会
- 調整会議

6月

- 8日 相談支援専門員現任者研修打ち合わせ
- 15日 中部自立支援協議会運営会議
- 15日 中部自立支援協議会
- 20日 相談支援専門員カフェ
- 20日 中部圏域支援センター支えあいの会
- 25日 医療的ケア研修
- 29日 基幹支援センタースキルアップ研修

※毎月、施設長会議・主任会議を実施しています。

その他、諸事業諸活動においても定例活動を行っております。

センター往来

法人役員等研修会及び指導監査等説明会にZoomにて参加しました。

◎4月17日ハートピア京都で開催された「福祉の仕事相談会」へ出展させていただきました。

◎5月20日理事会が開催され、2022年度決算報告等について承認されました。

◎5月21日京都御所富小路広場にて上京消防団総合査閲が行われ、嘉楽分団の一員として4名の職員が参加しました。

◎5月26日京都市社会福祉



査閲の花形「ポンプ操法」



訓練の成果をお見せします!!



ねらいを定めて! (西陣マルシェ)

◎6月10日定時評議員会が開催され、2022年度決算報告等について承認されました。

同日、理事会も開催され理事長の選任等について承認されました。

◎6月11日「西陣の朝市マルシェ」の遊び場ブースのお手伝いで参加させていただきました。

◎6月16日より、放課後等デイサービス支援事業による今年度の関連職員研修がスタートしました。

◎6月28日龍谷大学で行われた福祉就職フェアに出展させていただきました。

お知らせ

2023年11月19日(日)「西陣会秋フェス」を開催いたします。屋台コーナー、子どもコーナーなどを計画中です。今からご予約にお入れください!

お祝い

◎デイセンターふらっと職員の高賀理恵さん、7月7日に男の子を出産されました。おめでとうございます。



編集後記

二〇二三年四月一日より、こども家庭庁が発足し、同時に「こども基本法」が施行されました。この中ではじめて児童館は、こどもの『居場所』として位置づけられました。謳われているのは、「こどもまんなか」社会。「こどもがまんなか」って、「こどもが、まん中」? 「こども、がまん中」? どっちともとれるような現在の「こどもまんなか」社会。今こそ児童館・学童保育所の出番! と思うけれど... 本当にこどもたちが「まんなか」の事業になっている? こどもの最善の利益って? 京都市の児童館・学童保育所で研修・研究をすすめていきます。

住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて (075) 451-5700 迄ご連絡下さい。

社会福祉法人 西陣会

- 法人本部
- 京都市民福祉センター
- 地域活動支援センターふらっと
- 地域生活支援事業
- レスパイトサービス
- TEL (075) 451-1897
- FAX (075) 451-1570
- 西陣児童館
- 京都市放課後等
- デイサービス支援事業
- TEL (075) 451-1897
- FAX (075) 451-1570
- 西陣会居宅サービス係
- 相談支援事業所きぎな
- TEL (075) 441-7340
- FAX (075) 441-1529
- デイセンターふらっと
- TEL (075) 441-7340
- FAX (075) 441-1529
- 西陣会ホームとなり
- ショートステイゆう
- TEL (075) 461-1068
- FAX (075) 441-1529
- 西陣会ホームきたまち
- TEL (075) 461-1355
- FAX (075) 461-1356
- 京都市中部障害者地域生活支援センターにしじん
- TEL (075) 417-1600
- FAX (075) 451-1361
- 京都市北部障害者地域生活支援センターきらりリンク
- TEL (075) 751-1006
- FAX (075) 751-1007